

平成30年度 まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

会議名	川島町文化協会とのまちづくり懇談会 (タウンミーティング形式による)
開催日時	平成30年7月30日(月) 午後2時～3時30分
開催場所	川島町役場 中会議室
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)	個人を特定する情報については非公開とする ※「まちづくり懇談会実施要領」 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。
議題	(1)川島町文化協会加盟団体の現状と今後の発展について (2)川島町における文化活動の活性化について
出席者	町：町長、教育長、生涯学習課片岡課長、政策推進課関根主査 住民：川島町文化協会 9名
配布資料	次第
審議等の内容又は概要	
1 開会	
2 タウンミーティング	
3 閉会	
質疑応答・意見提案 ※フリートーク形式で実施	
町長：住民意識が変わってきている。地元で働いている農家が減り、会社勤めの人が多くなった。日本全体の人口が減るなかで、川島町も人口を減らさないように取り組んでいるが難しい。少数社会になっても横のつながりを大切にし、文化活動に取り組んでいく必要があると思う。	
団体：中央文化展について、日数を絞って内容を厚くした。展示するだけでなく、見てくれた人から意見をもらうことで、PDCAを行った方が良い。また、有名人や著名人の作品の展示や、他のイベントと併せて多くの人に来てくれるようにできないか。	
町長：PDCAはそのとおりだと思う。私も文化展では作品を素晴らしいと思いながら見させてもらっている。見ている人に声をかけて、話を聞いてみてはどうか。また、有名人や著名人は文化協会のつながりで探してもらい、参加の協力をお願いしてもらいたい。	
団体：若い人に町の歴史について知ってもらいたいが、なかなか次の世代につながっていない。地区で会員が片寄っており、一部の地区に会員がほとんどいない	

状態となっている。

町長：知り合いのつながりだけで会員を増やしていくのは難しいと思う。地域子ども教室等と一緒に活動してみてもいい。

団体：三保谷の遺跡調査に参加したときはとても楽しかった。もう少し広報をすることで皆さんに知ってもらえるのでは。

団体：町で発掘されたものは、町外に保管されるため、地元の人知らないことが多い。知ってもらえれば興味をもってもらえると思う。また、世代交代がどの団体もうまくいっていないと思う。80代の人を中心にきており、同じメンバーで長く活動しているため、辞めるときは一気に人数が減ってしまう。

団体：人の入れ替りもほとんどない。同じことを続けていてもなかなか人は増えない。

町長：地域子ども教室や公民館と一緒に活動することを、長く続けることで新しい人が増えるのではないか。また、中学校では生徒がやりたい部活が無い場合もある。スポーツでは大人から子どもまで一緒に活動できる総合スポーツクラブ等を作ることも考えている。中学校の書道部も一緒に活動する等すれば、新たな交流も生まれると思う。地域のスポーツ、文化、お祭り等の活動が活発になるよう、公民館に地域活動センターのようなものを考えている。

団体：コミュニティとの結びつきは大事だと思う。

町長：町ですべて行うのは難しいが、パティオでは色々な方が集まって活発に活動していると聞いている。

団体：町で枠組みや、きっかけを作ってもらいたい。

町長：公民館長と話し、連携していきたい。

団体：地域活動センターができれば公民館をより使用しやすくなる。

団体：集会所がいつも開いていれば使用しやすと思う。

町長：公民館は町が管理しているが、集会所は地域の管理のため、難しい。また、文化協会もパティオのように空き家を借り、そこで活動することもできる。

団体：東松山のいきがい大学に参加したが、川島町の人でも5人くらいおり、そこで知り合った人もいる。川島町も大学と連携して何かできないか。

町長：町でもシニア学園やかわべえ健康大学等の取組みをしている。

(町)：大学との連携は刺激になる。皆さんのネットワークから声をかけていただき、町に情報を提供していただきたい。

団体：文化協会に入っていない団体から出展もあるが、なかなか加盟してもらえない。

町長：すぐに加盟とはならないと思うが、文化協会に入っていない団体と一緒に活動することでつながりができる。町が把握している団体については情報提供できる。

団体：文化展の際に、10名以上の団体を文化協会に入ってもらえないか。

(町)：多くの団体の中心人物がいなくなっている。

団体：会員が減り役員になる人がいなくなっている。

町長：新たに加入した若い人が役員等、色々やらなくてはならないような話を聞いている。

団体：役員になりたくなくて、やめてしまう人も多い。

団体：次の世代にうまくバトンを渡さなくてはいけないと思う。町には少年少女合唱団が無いので、あれば子どもと大人のつながりができる。サマフェスでは成人の参加者が多かった。続けていけば、やりたい人が増えてくれると思う。

町長：イベントに子どもを呼ぶと一緒に大人も来てくれる。町でもキッズダンスイベントを開催する。子どもをターゲットにして、一緒に来た大人とのつながりができる。

団体：サマフェスでは、大人がアンケートで良かったと答えてくれている。

町長：子どもがスマホで撮った写真を絵にする等の企画をしても良いと思う。

団体：文化協会に入ってもらえない理由も考えないといけない。

(町)：文化展の際は、会員ではない人も参加しており、団体側で連絡や調整をしていると思うが、加入はしてもらえないのか。

団体：文化展の際に連絡はしているが、その後になかなかつながらない。

団体：町から補助金をもらっても、書類が面倒だからと加入しないという話を聞いている。

団体：文化協会に入っていない人でも、色々な活動をしている人はいる。また、施設をイベント等で借りる際に、レインボーでは公共施設の相互利用をしているが、比企地区では行っていないのか。

(町)：比企地区では公共施設の相互利用を行っていない。

町長：私も比企地区が相互利用していないとは知らなかった。今後の課題としたい。

団体：町のバスを使う予定だが、200kmまでの制限があるため、見直しをしてもらいたい。

町長：既に見直すように担当課に指示しているところ。高速道路もできたので、それを踏まえて距離を検討している。

団体：文化協会に入ってもらいやすいように、書類を簡略化できないか。また、地域子ども教室に文化協会も参加させてもらえないか。

(町)：書類の簡略化については研究していきたい。また、地域子ども教室についても検討させていただきたい。

団体：小見野では地域子ども教室に30人のボランティアが参加してくれて、とてもありがたかった。

団体：ボランティアは大切だが、サマフェスと日程がぶつかってしまう。

(町)：日程については調整していきたい。

団体：文化財を見せる機会が少ない。文化財を展示できるような施設があればよいと思う。古い農具も集まっているが、引き取ってくれるところがない。旧小学校を利用するなど考えてみては。

町長：確かに歴史、伝統、文化の継承が弱くなってきているように感じる。郷土資料館についても考えている。これからの子どもたちに町の歴史を伝えていきたい。